サポート情報記事

Discussions のアクセス許可: 閲覧、投稿、モデレートできるのは誰か

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

管理者向けの概要 4

Web パーツが操作の可否を判断する仕組み 5

3 つの役割 6

操作ごとの一覧 8

承認待ちおよび却下された投稿の表示 10

ゲストと読み取り専用の閲覧者 11

Discussions リストの固有のアクセス許可 11

用語 13

概要

Discussions には独自のアクセス許可モデルがありません。各掲示板 (ボード) は Web パーツが実行されるサイトの **SharePoint** リストに置かれ、すべての読み取りと書き込みはサインインしているユーザーが SharePoint API を通じて実行します。したがって、誰がボードを閲覧でき、誰が投稿でき、誰がモデレートできるかは、**サイトの SharePoint アクセス許可**、つまり**サイトのアクセス許可** (Site permissions) で既に管理しているグループとアクセス許可レベルによって決まります。

この記事では、Web パーツがこれらのアクセス許可から 3 つの役割をどのように導き出すか、各役割が操作ごとに何をできるか、ゲストや読み取り専用の閲覧者には何が見えるか、そして Discussions のリストに固有のアクセス許可を設定したい場合に何に注意すべきかを説明します。

> **メモ**
>
> このソリューションは API アクセス許可を要求せず、**Microsoft Graph** を呼び出すこともありません。SharePoint 管理センターで承認するものは何もありません。KB10413. Discussions の API アクセス許可と管理者の同意を参照してください。

管理者向けの概要

質問	回答
アクセス許可はどこで管理しますか?	SharePoint の**サイトのアクセス許可** (サイト グループとアクセス許可レベル)。Web パーツには役割の設定はありません
ボードを閲覧できるのは誰ですか?	サイト (およびページ) に対する**閲覧** 権限を持つすべてのユーザー
投稿、返信、いいね、フォロー、報告ができるのは誰ですか?	サイトのアクセス許可レベルに**アイテムの追加** が含まれるユーザー。**投稿**、**編集**、**デザイン** (Design)、**フル コント**

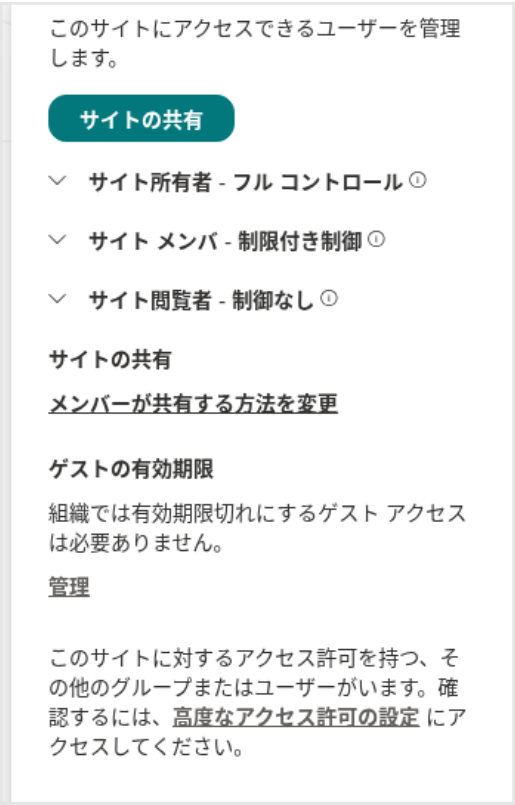
質問	回答
	ロール (Full Control)
モデレートできるのは誰ですか?	サイトのアクセス許可レベルにリストの管理 が含まれるユーザー。編集、デザイン、フル コントロール
ゲストは利用できますか?	はい。サイトのアクセス許可に従って、追加の設定なしで利用できます
ボードとリストを作成できるのは誰ですか?	不足しているリストやアセット ライブラリの作成には「リストの管理」が必要です。4 つのリストとライブラリがすべて存在する場合、ボードのリストで「アイテムの追加」権限を持つページ編集者は別のボードを作成できます。
承認待ちの投稿を見られるのは誰ですか?	その作成者とモデレーター

Web パーツが操作の可否を判断する仕組み

ページの読み込み時に、Web パーツは現在のユーザーのサイトに対する有効なアクセス許可を読み取り、2 つのフラグを設定します。

- 書き込み可能 - ユーザーがサイトに対する基本アクセス許可アイテムの追加を持っている。
- モデレート可能 - ユーザーがサイトに対する基本アクセス許可リストの管理を持っている。

このフラグによって、どのコマンドとボタンが表示されるかが決まります。書き込みできるユーザーには 新しいトピック、返信、フォロー、報告 が、モデレーターには モデレーション、承認、固定、おすすめ、ロック済み が表示されます。その後にユーザーが行う操作はすべて、Discussions Topics、Discussions Posts、Discussions Subscriptions、Discussions Assets の各リストに対する通常の要求であり、SharePoint がそれぞれの要求にリストのアクセス許可を適用します。アクセス許可を継承しているサイトでは、両者は常に一致します。



Discussions の役割を決めるサイト グループとアクセス許可レベル

3 つの役割

役割	サイトで必要なもの	できること
閲覧者	閲覧 (*サイトの閲覧者 グループ*)	ボードを開く、**最近**、**未回答**、**回答済み**、**おすすめ**、**自分のトピック** の各ビューを切り替える、カテゴリで絞り込む、検索する、トピックと返信を開く、添付ファイルをダウンロードする、ディープ リンクをたどる
メンバー	**アイテムの追加 - 投稿**、**編集**、**デザイン**、**フル コントロール**に含まれます	閲覧者ができることすべてに加えて、**新しいトピック**、**返信**、**いいね**、ボードやトピックの **フォロー**、他のユーザーの投

役割	サイトで必要なもの	できること
		稿への **報告**、自分の返信の **編集** と **削除**、自分の投稿へのファイルの添付と削除、自分の質問での **回答としてマーク**
モデレーター	**リストの管理 - 編集**、**デザイン**、**フル コントロール**に含まれます	メンバーができることすべてに加えて、**モデレーション キュー** (承認、却下、報告の取り下げ、削除)、トピック内での **承認**、任意のトピックの **固定**、**おすすめ**、**ロック済み**、任意の返信の **編集** と **削除**、任意の添付ファイルの削除、任意の質問での **回答としてマーク**、**承認待ち** と **拒否済み** のアイテムの表示、ボードの作成と **クラシック掲示板をインポート** の実行

モデレーター自身のトピックと返信は、承認を必須とするボードでも直ちに公開されます。メンバーの投稿はキューで待機します。

警告

モダンのチーム サイトとコミュニケーション サイトでは、既定の**サイトのメンバー (Site members)** グループのアクセス許可レベルは**編集** であり、**編集**には**リストの管理**が含まれます。したがって既定の設定では、すべてのメンバーがモデレーターになります。メンバーとモデレーターを分けるには、**サイトのアクセス許可 → 高度なアクセス許可の設定 (Advanced permissions settings)** を開き、メンバー グループのアクセス許可レベルを**投稿**に変更し、モデレーターは**サイトの所有者**または**編集**を持つグループに残します。

操作ごとの一覧

操作	必要なもの	備考
トピックと返信の閲覧	閲覧	承認済みのアイテムと、ユーザー自身のアイテムのみ
表示回数カウンター	-	閲覧者の代わりに加算されます。読み取り専用のユーザーでは試行が黙って失敗するため、読み取り専用ユーザーの表示は数えられません
新しいトピック、返信	アイテムの追加	ボードが承認を必須とし、ユーザーがモデレーターでない場合はモデレーション キューに入ります
トピックや返信への いいね	アイテムの追加	閲覧者にもボタンは表示されますが無効になっています
フォロー / フォロー解除	アイテムの追加	`Discussions Subscriptions` リスト

操作	必要なもの	備考
		が必要です。KB10404. 掲示板とトピックのフォロー: サブスクリプションとダイジェストの頻度を参照してください
報告 / 報告済み	アイテムの追加	ユーザー自身の投稿には表示されません。ユーザーとアイテムごとに 1 回の報告です。モデレーターが報告を取り消すと、同じユーザーが再び報告できます。
返信の編集	作成者またはリストの管理	
返信の削除	作成者またはリストの管理	スレッドから削除できるのは、入れ子の返信を持たない返信だけです
ファイルの添付、添付ファイルの削除	作成者またはリストの管理	
回答としてマーク、回答マークを解除	トピックの作成者またはリストの管理	質問トピックの最上位の返信
承認、拒否、報告を却下	リストの管理	モデレーション キューまたはトピック内
固定、おすすめ、ロック済み	リストの管理	KB10410. トピックのピン留め、注目設定、ロックを参照してください
トピックの削除	リストの管理	モデレーション キューから

操作	必要なもの	備考
ボードの作成、リストのプロビジョニング	不足しているリストやアセット ライブラリの作成には「リストの管理」が必要です。4 つのリストとライブラリがすべて存在する場合、ボードのリストで「アイテムの追加」権限を持つページ編集者は別のボードを作成できます。	–
クラシック掲示板をインポート	リストの管理 + ページの編集権限	このコマンドはページが編集モードのときだけ表示されます
Web パーツの構成	ページの編集権限	プロパティ ウィンドウのボード、既定のビュー、ページ サイズ、スイッチ



モデレーターが利用できるトピックの操作

承認待ちおよび却下された投稿の表示

新しい投稿の承認が必要 が有効なボードでは、Web パーツはトピックにも返信にも同じルールを適用します。メンバーには**承認済み**のアイテムと、状態を問わず**自分自身**のアイテムが表示され、モデレーターにはすべてが表示されます。メンバー自身の承認待ちトピックには **承認待ち** バッジが、却下されたトピックには **拒否済み** バッジが付きます。モデレーター以外の他のユーザーには表示されません。

Discussions Activity Web パーツは、誰が見ても承認済みのトピックだけを表示します。詳細とトラブルシューティングは KB10430. 投稿が表示されない理由: 承認、却下、表示ルールにあります。

ゲストと読み取り専用の閲覧者

ゲスト ユーザー (Microsoft Entra B2B) は、サイトのアクセス許可に従って参加します。*サイトの閲覧者*に属するゲストは閲覧でき、**投稿**を持つグループに属するゲストは投稿と返信ができます。追加の構成は不要です。**アイテムの追加**を持たない閲覧者には、**いいね** の数や添付ファイルを含むボード全体が表示されますが、返信ボックスと **新しいトピック** は表示されず、**いいね** ボタンは無効になっています。**フォロー** ボタンは表示されません。

Microsoft Teams でも同じルールが適用されます。タブはチーム サイトのコンテキストで実行されるため、役割を決めるのはチーム メンバーの SharePoint アクセス許可レベルであり、Teams の役割ではありません。

> メモ
>
> ユーザーはページと**リスト**の両方にアクセスできる必要があります。サイトのリストにアクセスできないユーザーとページを共有した場合、そのユーザーには Web パーツにボードの代わりにエラーが表示されます。

Discussions リストの固有のアクセス許可

これらのリストは**サイト コンテンツ** (Site contents) にある通常のサイト リストで、サイトのアクセス許可を継承します。継承を中止することもできますが、次の 3 点に注意してください。

- **ボタンはサイトに、結果はリストに従います。** 参加操作とモデレーション操作の表示を決める際、Web パーツはリストではなくサイトに対するユーザーのアクセス許可を確認します。サイトに**投稿**を持ち、`Discussions Posts` には**閲覧**しか持たないユーザーにも **返信** ボタンは表示され、投稿時にエラーになります。同じユーザーに対して、リストのアクセス許可はサイトのアクセス許可と同等以上に保つか、代わりにサイトのアクセス許可を変更してください。
- **アイテム レベルのアクセス許可を使わないでください。** いいね、報告、表示回数カウンター、返信カウンターは、*他*のユーザーが作成したアイテムに書き込み

ます。リストの詳細設定*アイテムの作成*と、*ユーザーが作成したアイテムの編集*を選ぶと、これらがすべて機能しなくなります。

- すべてのリストをまとめて。 **Discussions Boards**、**Discussions Topics**、**Discussions Posts**、**Discussions Subscriptions** とライブラリ **Discussions Assets** は 1 つの操作の中で使われます。同じ対象者には 5 つすべてに同じレベルを付与してください。

リストはサイト上のすべてのボードで共有されるため、ボードごとに独自の対象者を設定することはできません。組織の一部だけが閲覧できるフォーラムは、その対象者を持つサイトに作成してください。

ヒント

特定のユーザーに何ができるかを確認するには、**サイトのアクセス許可 → 高度なアクセス許可の設定 → アクセス許可の確認 (Check Permissions)** を開き、結果の中で*アイテムの追加*と*リストの管理*を探します。この 2 つの基本アクセス許可が、Discussions の役割モデルのすべてです。

用語

Microsoft Graph

Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

Microsoft Teams

Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

サイト

SharePoint サイトは、SharePoint プラットフォーム内の情報のコンテナーです。サイトには通常、ドキュメント ライブラリ、リスト、予定表、ディスカッション ボード、ワークフローなどの機能があり、チーム内または部門間でのコラボレーション、コミュニケーション、ドキュメント管理を促進します。サイトは、組織の特定のニーズやワークフローに合わせてカスタマイズおよび構成できます。

リスト

リストは、SharePoint のストレージ単位です。リストには、さまざまな種類の列、コンテンツ タイプ、ビューを含めることができます。ドキュメント ライブラリは特別な種類のリストであるため、リストの機能を継承します。